

平成 26 年度

# 事業計画書

公益財団法人 三重県水産振興事業団

# 平成26年度事業計画

## I. 目的

水産業に関わる社会的、経済的基盤の整備開発及び漁業経営の安定に係る事業を推進し、もって時代の要請に即応した安全で安心な水産物を安定的に供給すること、並びに水産業の健全な発展を図るとともに地域経済に寄与することを目的とする。

## II. 法人を取り巻く経営環境

外部環境要因として、①債権の低金利状況の継続、②行政機関の財政逼迫による補助金等の削減、③漁協経営の低迷、④燃料、餌料等価格の高騰による生産コストの増大

内部環境要因としては、①種苗生産施設の老朽化に伴う修理、改修費の増大、②健全種苗量産や新規魚種開発の課題

## III. 事業の一覧（公益目的事業）

### 1. 水産種苗生産供給事業

県民に安全で安心な水産物を安定的に供給するため、水産動植物の種苗生産、中間育成及び種苗を供給する。

### 2. 水産生物量産化技術試験事業

種苗生産の量産化に技術的な課題のある魚種の技術開発試験を行う。

### 3. 水産振興対策事業

水産資源の維持増大を図るため、漁協等が実施する種苗放流や漁場、漁法の開発等に助成する。

### 4. 啓発普及事業

水産に係る調査及び啓発普及を行う。

### 5. 資源増大実証事業

水産動植物の種苗生産、中間育成、放流を実施するとともに、市場で混入率を調査し、その効果を明らかにする。

### 6. 伊勢湾栽培漁業推進事業

伊勢湾沿岸地域の漁協等が実施する種苗生産、放流事業に助成するほか、当法人が実施する放流用種苗の中間育成を行う。

#### 7. 伊勢湾水産振興事業

伊勢湾沿岸地域の水産資源の維持増大を目的とした放流及びその効果調査、安定的な漁業経営の育成対策、海域の水産動植物の生息域の保全及び改善に関する事業に助成する。

### IV. 事業の内容

#### 1. 水産種苗生産供給事業【予算額 169,398 千円】

##### 1) 種苗生産事業

(1) 三重県栽培漁業センターにおいて、県から委託されたヒラメ、トラフグ、クルマエビ、ヨシエビ、ナマコの種苗生産を行い、県からの指示により種苗を供給する。

三重県栽培漁業センター【予算額 64,242 千円 県委託費 64,242 千円】

県 委 託 事 業				
ヒラメ 30mm	トラフグ 20mm	クルマエビ 17mm	ヨシエビ 17mm	ナマコ 7mm
20 万尾	10 万尾	310 万尾	350 万尾	4 万尾

(2) 三重県尾鷲栽培漁業センターにおいて、基金果実等事業として、アワビ、マダイ、トラフグ、カサゴの種苗生産をする。

三重県尾鷲栽培漁業センター【予算額 82,744 千円】

種 苗 生 産 事 業					
アワビ 15mm	アワビ 25mm	アワビ 30mm	マダイ 30mm	トラフグ 20mm	カサゴ 50mm
29 万個	46 万個	14 万個	60 万尾	28 万尾	17 万尾

##### 2) 種苗供給事業【予算額 22,412 千円】

両栽培漁業センターで生産された種苗や試験生産された種苗を要望のある市町、漁協等に供給する。

## 2. 水産生物量産化技術試験事業【予算額 61,229 千円】

### 1) マハタ飼育試験事業【予算額 45,979 千円】

マハタ種苗生産については水産研究所から基礎技術の移転を受け、平成 23 年度から量産化に取り組んでいる。しかし、形態異常魚の発生防止など課題も多く、引き続き生産の効率化のために中間育成試験を実施し、魚類養殖業者からの要望尾数が配布できるよう量産化を図る。

なお、本年度も出荷魚の全数に VNN ワクチンの接種を行う。

生産目標　マハタ種苗 14 万尾

### 2) アコヤ貝種苗生産・飼育管理試験事業

#### (1) アコヤ貝種苗生産飼育試験事業【予算額 3,809 千円】

スーパーアコヤ開発事業で開発された新しい選抜手法を用いて国産貝で優秀な親貝を選抜し、アコヤ貝の種苗量産化試験を行う。

生産目標　アコヤ貝 108 万個

#### (2) アコヤガイ生産技術移転・系統保存管理事業（委託）【予算額 2,000 千円】

白化真珠が発生した問題から、現在、白色系アコヤピース貝の生産は中止している。県水産研究所は原因究明を含め、品種改良の交配試験を実施している。その一環として、事業団は「みえの真珠養殖再生支援協議会」からの委託を受け試験貝の飼育管理を行う。

### 3) 広域種資源造成支援事業（国補助）【予算額 3,402 千円】

広域に回遊する魚種の資源造成が円滑に行えるよう平成 23 年度に太平洋南海域栽培漁業推進協議会（千葉県～宮崎県）が設立された。静岡・愛知・三重の 3 県は、トラフグを対象として共同で資源造成事業に取り組んでいる。当事業団は 8 万尾のトラフグ種苗を生産し、6 万尾程度を伊勢湾内に放流することになっている。

### 4) 海女漁業資源増大技術開発試験事業（県委託）

海女文化の継承と海女漁業における漁業収入の安定化を目的としたアワビの大型種苗の生産試験を行う。

また、アワビに代わって貴重な収入源となっているナマコ資源の増大のため、県の委託を受け種苗生産技術開発試験に取り組む。

#### (1) 大型アワビ種苗生産試験事業（県委託）【予算額 3,039 千円】

大型化することで高い回収率が見込まれるアワビ種苗の安定生産体

制の構築を目的に、生残率や飼育に要するコスト等を検証しつつ、種苗生産試験を行う。

(2) 赤ナマコ種苗量産技術開発試験事業（県委託）【予算額 3,000 千円】

海女漁において、冬場の重要な漁業資源となっている赤ナマコを増大させるに当たり、必要な放流用種苗の安定的な供給体制を整備するため、赤ナマコの種苗生産技術の開発試験を行う。

3. 水産振興対策事業【予算額 4,190 千円】

1) 外海域水産振興事業【予算額 4,190 千円】

沿岸漁業の水産資源の維持増大を図るため、漁協等が実施する種苗放流事業や県が整備した浮魚礁の管理に助成する。

2) 漁協経営再編基盤強化事業

三重県委員会で承認された三重県漁協系統基盤強化スキームに基づき、資金の後年度負担金を関係各機関から徴求する。

4. 啓発普及事業【予算額 3,000 千円】

栽培漁業の円滑な推進を図るため、伊勢湾地域栽培漁業推進協議会及び三重外海域栽培漁業推進協議会を開催し、放流用種苗の中間育成、放流場所、放流効果等に関する事項を協議する。

また、水産物消費拡大促進協議会等の実施する魚食普及活動に協賛助成するとともに、県民や児童による種苗放流への支援、成果報告会や広報誌、ホームページ等を通じて、関係者へ水産生物資源の維持増大の重要性について情報の提供を行う。

5. 資源増大実証事業【予算額 35,234 千円】

1) 地域展開促進事業【予算額 21,881 千円】

尾鷲栽培漁業センターで生産したマダイ種苗 60 万尾を同センターで 60mm サイズまで中間育成し、伊勢湾口から三重外海域に放流する。

また、放流による効果把握のため、県研究所の指導のもと、関係者と協力し、主要市場における漁獲調査、価格調査及び混入率等の調査を実施する。

2) 特定海域展開事業【予算額 4,851 千円】

栽培漁業センターで生産したヒラメ種苗 20 万尾を 3 ヶ所で 70~80mm サイズまで中間育成し、伊勢湾から三重外海域に放流する。

また、放流効果を把握するため、主要市場で漁獲調査、混入率等の調査を実施する。

3) 資源回復計画促進事業【予算額 8,502 千円】

両栽培漁業センターで生産したトラフグ種苗 30 万尾を 3 ヶ所で 50~60mm サイズまで中間育成し、伊勢湾から三重外海域に放流する。

また、主要市場で漁獲調査、混入率等の調査を実施する。

6. 伊勢湾栽培漁業推進事業【予算額 50,464 千円】

1) 伊勢湾海域生物中間育成事業【予算額 48,254 千円】

伊勢湾北部中間育成場において、クルマエビ種苗 150 万尾、ヨシエビ種苗 255 万尾及びガザミ種苗 100 万尾を中間育成し、関係者の協力を得て適地に放流する。

また、伊勢湾南部中間育成場では、ヒラメ種苗 12 万尾、トラフグ種苗 10 万尾、クルマエビ種苗 160 万尾を中間育成し、関係者の協力を得て伊勢湾内に放流する。

なお、北部で収容仕切れない 95 万尾のヨシエビについては、防疫の観点から栽培漁業センターでの中間育成をする。

2) 伊勢湾海域資源増大事業【予算額 2,210 千円】

伊勢湾海域の水産資源の維持増大を図るため、漁協等が実施する種苗放流事業に助成をする。

7. 伊勢湾水産振興事業 【予算額 221,585 千円】

1) 海域環境対策事業【予算額 15,051 千円】

伊勢湾海域の環境保全を図るため、流木等ゴミ被害対策や底質改善事業、藻場・干潟の再生事業や環境保全の啓発普及事業等に助成する。

2) 水産資源管理増大事業【予算額 20,646 千円】

伊勢湾海域の水産資源管理や資源増大を図るため、重要貝類の種苗放流事業、資源管理対策事業及び資源保護に必要な漁場造成事業等に助成する。

3) 漁業経営安定対策事業【予算額 185,888 千円】

漁業経営の安定化を図るため、伊勢湾内の漁協等が実施する各種の共同利用施設整備事業等に助成する。

平成26年度 収支予算書

(単位：千円)

科 目	平成26年度 当初予算額	平成25年度 当初予算額	増 減
一般正味財産増減の部			
経常増減の部			
経常収益			
<b>基本財産運用益</b>	<b>49,520</b>	<b>50,324</b>	<b>-804</b>
基本財産（振興）受取利息	20,989	21,540	-551
基本財産（栽培）受取利息	18,446	18,762	-316
基本財産（伊勢湾）受取利息	10,085	10,022	63
<b>特定資産運用益</b>	<b>27,903</b>	<b>28,236</b>	<b>-333</b>
特定資産受取利息	27,903	28,236	-333
<b>事業収益</b>	<b>159,438</b>	<b>144,007</b>	<b>15,431</b>
受託事業収益	73,281	76,487	-3,206
生産物等収益	86,157	67,520	18,637
<b>受取補助金等</b>	<b>1,791</b>	<b>10,099</b>	<b>-8,308</b>
受取地方公共団体等補助金	1,791	10,099	-8,308
<b>受取負担金</b>	<b>22,334</b>	<b>22,180</b>	<b>154</b>
受取負担金	22,334	22,180	154
<b>雑収益</b>	<b>3,624</b>	<b>1,666</b>	<b>1,958</b>
受取利息	3,624	1,666	1,958
雑収益	0	0	0
<b>経常収益計</b>	<b>264,610</b>	<b>256,512</b>	<b>8,098</b>
経常費用			
<b>事業費</b>	<b>520,393</b>	<b>506,813</b>	<b>13,580</b>
役員報酬	3,524	3,524	0
給料手当	92,059	88,258	3,801
賃金	28,991	29,544	-553
退職給付費用	12,133	7,926	4,207
賞与引当金繰入額	6,500	6,500	0
福利厚生費	17,441	17,422	19
会議費	50	50	0
旅費交通費	2,264	2,322	-58
通信運搬費	1,255	1,255	0
減価償却費	4,213	3,248	965
消耗品費	18,400	17,277	1,123
修繕費	5,550	3,250	2,300
印刷製本費	360	360	0
燃料費	6,687	5,495	1,192
光熱水料費	30,786	31,240	-454
借損料	5,842	5,235	607
原材料費	1,697	1,554	143
餌料費	16,632	16,501	131
種苗費	24,558	22,535	2,023
新聞図書費	100	100	0
図書購入費	30	30	0
租税公課	5,905	6,204	-299
保険料	876	946	-70
会費	45	45	0
助成金	224,500	224,500	0



科 目	平成26年度 当初予算額	平成25年度 当初予算額	増 減
負担金	1,500	1,500	0
委託費	6,319	7,727	-1,408
研修費	100	100	0
手数料	1,976	2,065	-89
雑費	100	100	0
<b>管理費</b>	<b>5,500</b>	<b>5,500</b>	<b>0</b>
役員報酬	320	320	0
給料手当	2,027	2,027	0
賃金	500	500	0
福利厚生費	378	388	-10
会議費	150	150	0
旅費交通費	750	800	-50
通信運搬費	100	100	0
消耗品費	150	232	-82
印刷製本費	250	250	0
燃料費	20	20	0
借損料	191	191	0
図書購入費	10	10	0
保険料	110	30	80
会費	157	155	2
負担金	115	115	0
研修費	50	30	20
手数料	20	20	0
雑費	202	162	40
<b>経常費用計</b>	<b>525,893</b>	<b>512,313</b>	<b>13,580</b>
<b>評価損益等調整前当期経常増減額</b>	<b>-261,283</b>	<b>-255,801</b>	<b>-5,482</b>
特定資産評価損益	0	0	0
投資有価証券評価損益	0	0	0
投資有価証券売却益	0	0	0
<b>評価損益計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>-261,283</b>	<b>-255,801</b>	<b>-5,482</b>
<b>経常外増減の部</b>			
受取負担金	180,000	180,000	0
<b>経常外収益計</b>	<b>180,000</b>	<b>180,000</b>	<b>0</b>
<b>経常外費用計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>当期経常外増減額</b>	<b>180,000</b>	<b>180,000</b>	<b>0</b>
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>-81,283</b>	<b>-75,801</b>	<b>-5,482</b>
<b>一般正味財産期首残高</b>	<b>-441,199</b>	<b>-587,633</b>	<b>146,434</b>
<b>一般正味財産期末残高</b>	<b>-522,482</b>	<b>-663,434</b>	<b>140,952</b>
<b>指定正味財産増減の部</b>			
基本財産評価損益	0	0	0
特定資産評価損益	0	0	0
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>指定正味財産期首残高</b>	<b>4,664,827</b>	<b>4,677,571</b>	<b>-12,744</b>
<b>指定正味財産期末残高</b>	<b>4,664,827</b>	<b>4,677,571</b>	<b>-12,744</b>
<b>正味財産期末残高</b>	<b>4,142,345</b>	<b>4,014,137</b>	<b>128,208</b>

